

2016冬期スケジュール 国際定期便の概要

航空会社111社（本邦8社/外航103社）から申請のあった、2016冬期スケジュール※に係る国際定期便の事業計画について、10月28日付で認可。 ※ 2016年10月30日～2017年3月25日

運航便数全体（注：当初認可時における第1週目の実運航便数、今後期中の増減があり得る）

旅客及び貨物便合計で過去最高の5043.5便/週。旅客便では、アジア方面が8割超え。
本邦社：**1455.5便/週**（28.9%）（'16夏期比+51便/週・'15冬期比+127.5便/週）
外航社：**3588便/週**（71.1%）（'16夏期比△15便/週・'15冬期比+104.5便/週）

旅客便の主な動向

○首都圏空港（羽田・成田）・関空・中部空港の動き

（首都圏空港）羽田空港では本年2月の日米航空交渉の結果を受け、昼間時間帯を活用して本邦社によるニューヨーク線及びシカゴ線、米国社によるミネアポリス線等が開設。成田空港では韓国社がLCCを中心に大幅増便、本邦社がホーチミン線を増便。

（関空・中部空港）各路線ともほぼ横ばい。

○地方空港の動き

新千歳空港では韓国社・中国社等を中心に'16夏期比で約3割増。特に、新千歳空港では、国際航空便の規制緩和をうけて、期中には最大で+30便/週の見込み。仙台空港、高松空港では'16夏期途中からの新規就航・増便が継続。福岡空港では韓国社が大幅増便し、北九州空港も2年半ぶりに国際線が復便。

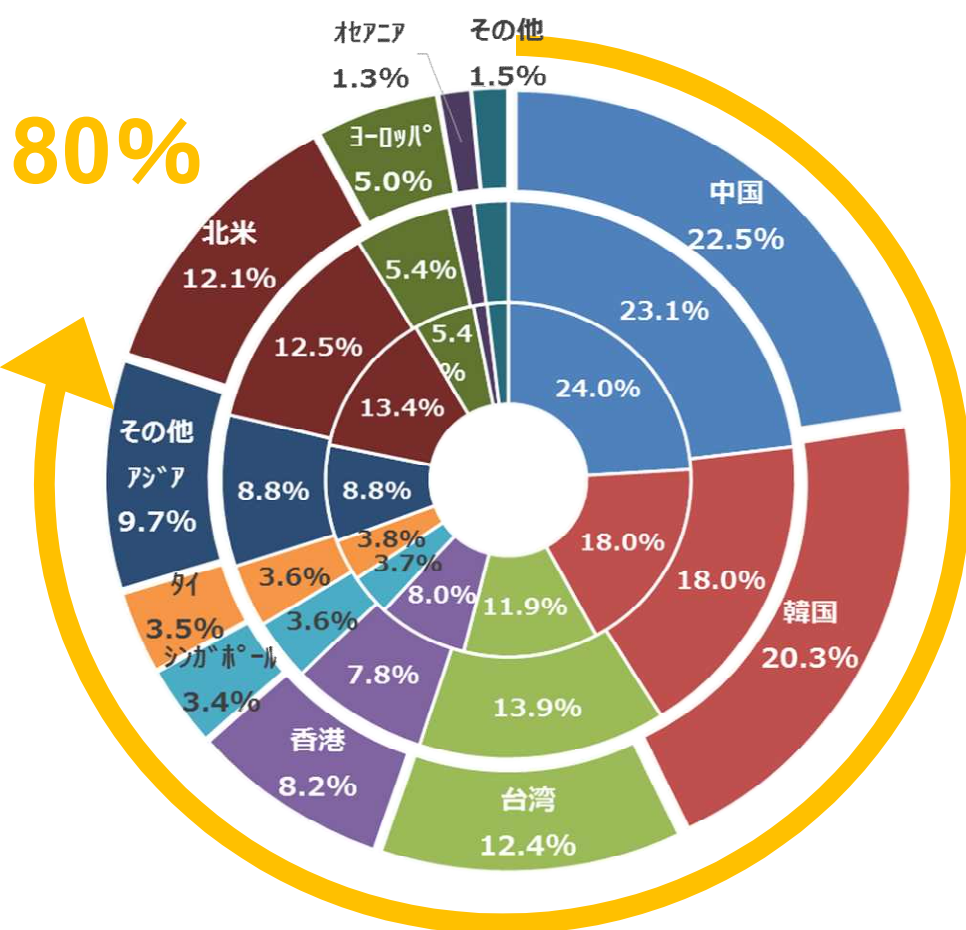
○LCCの動き

'16夏期比で130便/週増となり、全旅客便数に占めるLCC比率が20%超に（過去3年6期の平均成長率は約19%）。うち韓国社LCCによる増便が109便/週、本邦LCCによる増便が20便/週。

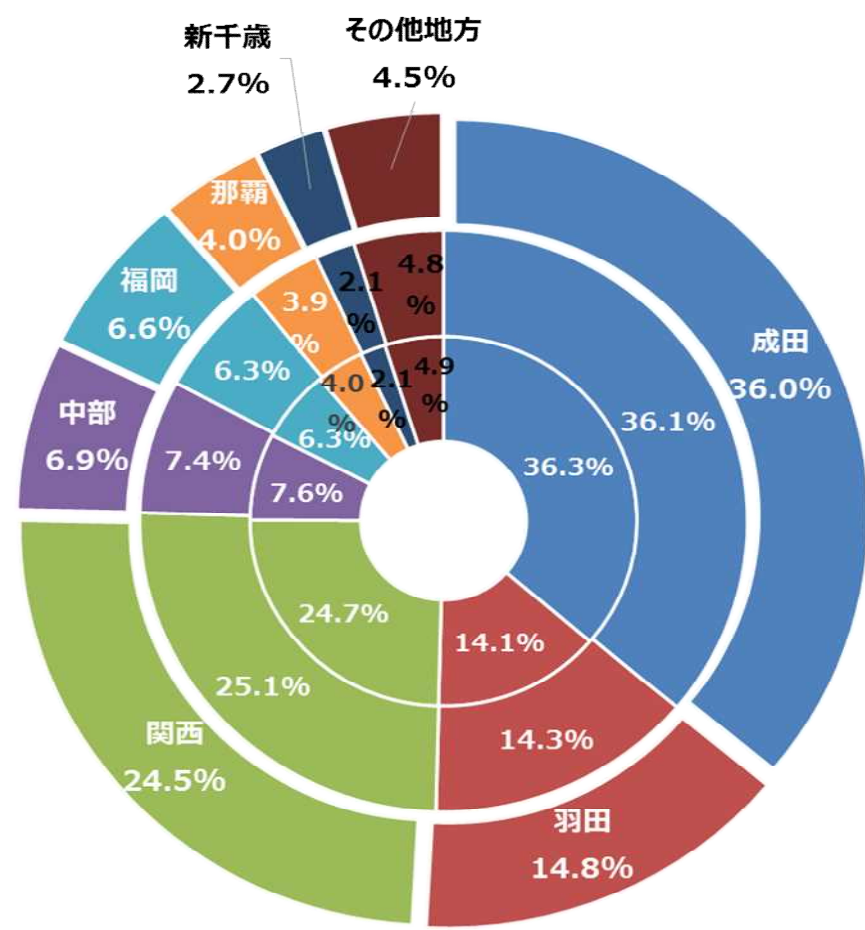
【方面別】アジア方面が約80%を占めており、アジア方面の増加傾向が続いている。特に、韓国が大きく増加。米国は、米国社による減便が続いている。

【空港別】羽田空港は米国路線の羽田就航や本邦LCCの深夜便就航により増加。新千歳空港は、国際航空便の規制緩和をうけて、期中には最大で+30便/週の見込み。

方面別



空港別

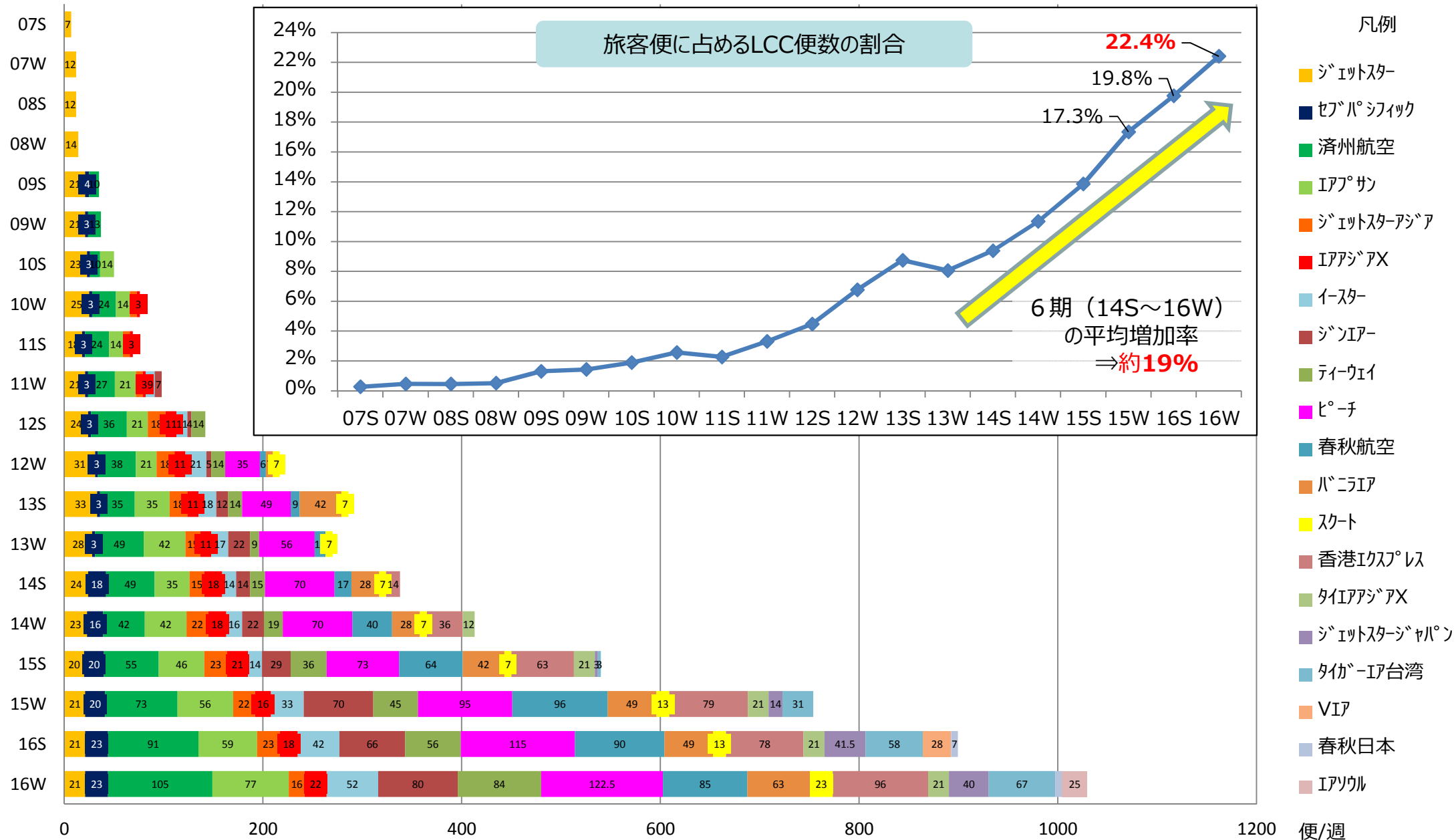


※'16冬期 (外側)、'16夏期 (中間)、'15冬期 (内側) の各期における各方面の占める便数割合

※'16冬期 (外側)、'16夏期 (中間)、'15冬期 (内側) の各期における各空港の占める便数割合

LCC便数推移(国際線)

LCCにおいては、韓国社が109便/週（一部アジアナ航空からエアソウルへの移管路線）、本邦社が20便/週、香港社が18便/週それぞれ増加、その他の増減を含め、全体で130便/週増加。



2016冬期 国籍別国際定期便(旅客便・貨物便)の動向

【国籍別】

本邦社：1455.5便/週（28.9%）（'16夏期比+51便/週・'15冬期比+127.5便/週）

外航社：3588便/週（71.1%）（'16夏期比△15便/週・'15冬期比+104.5便/週）

【外国企業】

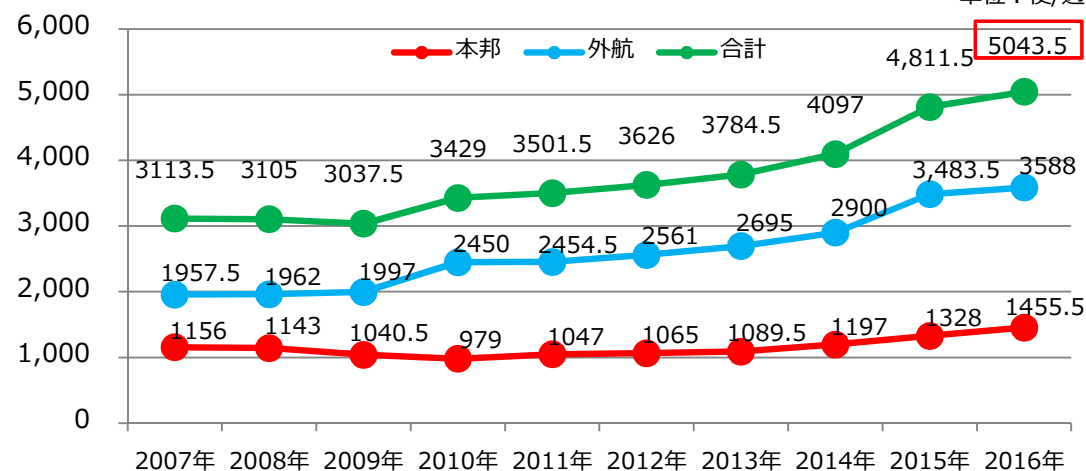
外航社のうち、最多便数は韓国社で846便/週（乗り入れ外航社のうち23.6%）、次に中国社で775便/週（同比 21.6%）また、便数の増加が目立つのは韓国社で'16夏期比+113便/週。

単位：便/週

航空会社国	2016冬期		2016夏期	2015冬期
	16夏期比	15冬期比		
日本企業	1,455.5	51	1,404.5	1,328
外国企業	3,588	-15	3,603	3,483.5
中国	775	-23	798	809.5
韓国	846	113	733	715
台湾	409	-63	472	383
香港	311	23	288	273
シンガポール	109	3	106	105
タイ	96	0	96	96
その他アジア	265	10	255	243
米国	484.5	-57.5	542	553
ヨーロッパ	163.5	-12.5	176	165
北アフリカ	44	-1	45	43
中東	60	-7	67	74
その他	25	0	25	24
計	5,043.5	36	5,007.5	4,811.5

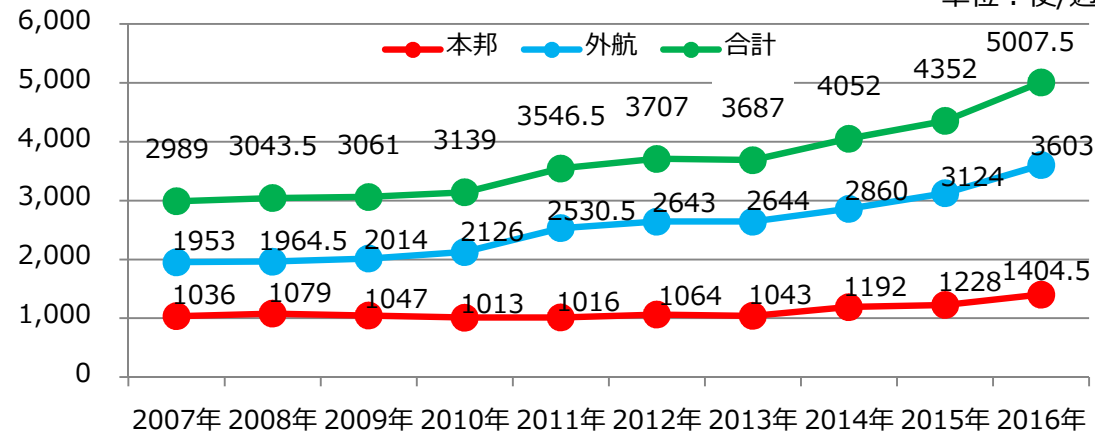
冬期スケジュール推移

単位：便/週



夏期スケジュール推移

単位：便/週



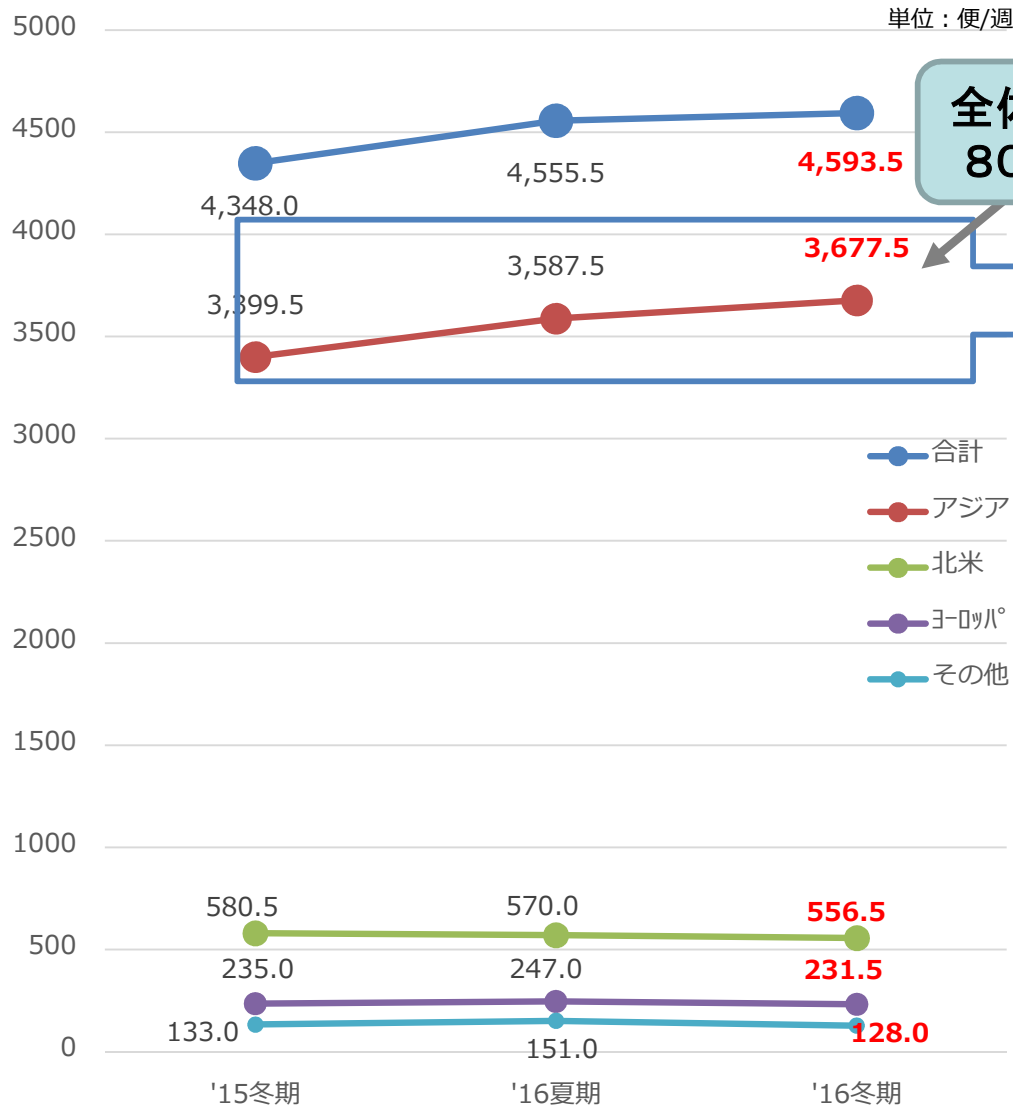
2016冬期 国際線 方面別内訳(旅客便)

アジア方面が8割を超え、アジア方面の増加傾向が続いている。アジア方面のうち韓国が大きく増加しており、増加分の大半がティーウェイ航空やエアプサン等の韓国LCC。中国は、第一週の運航便としては微減となったが、期中に新千歳空港における大幅な増便が予定されており、微増となる見込み。

方面別内訳

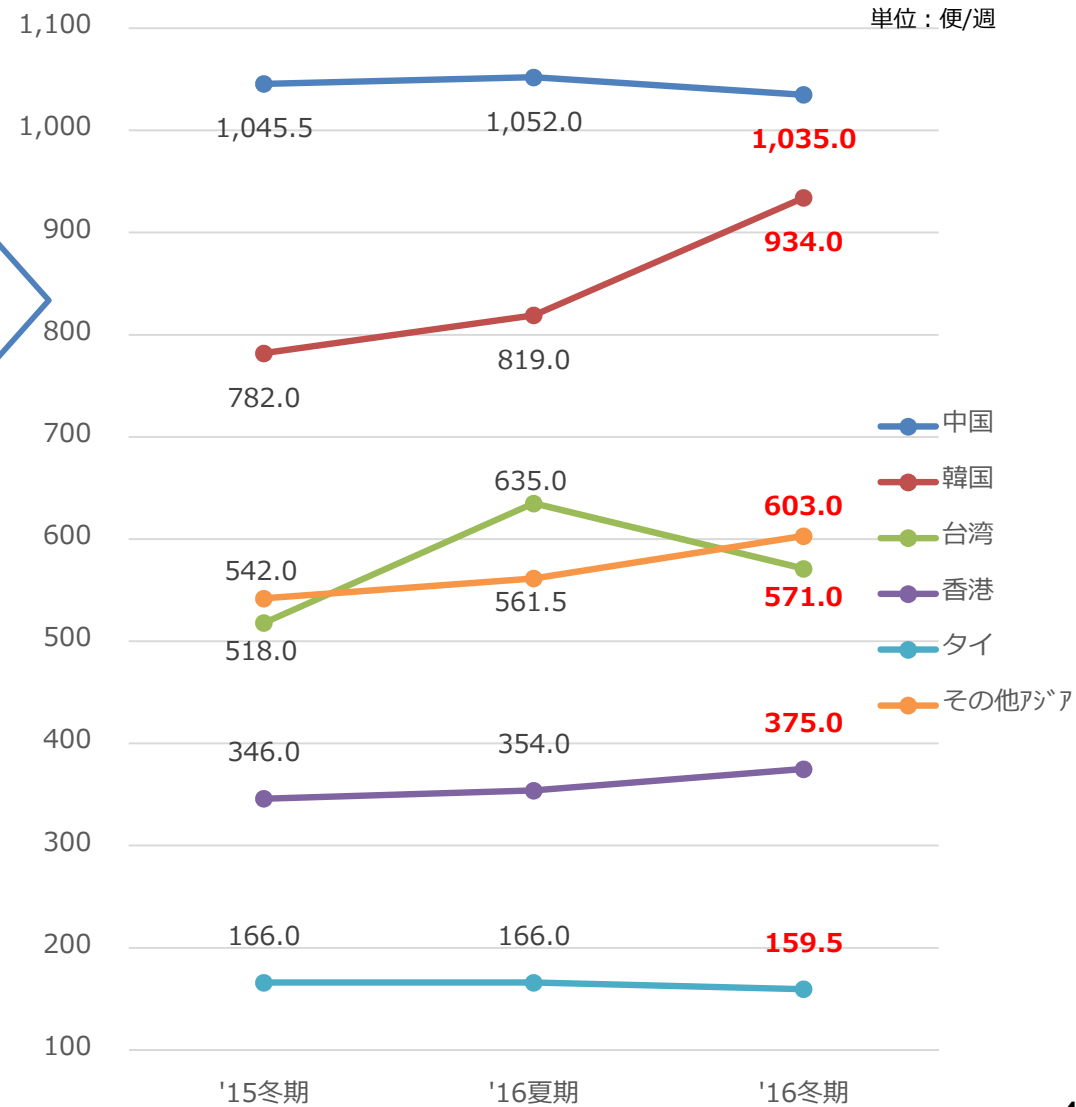
単位：便/週

全体の
80%



アジア内訳

単位：便/週



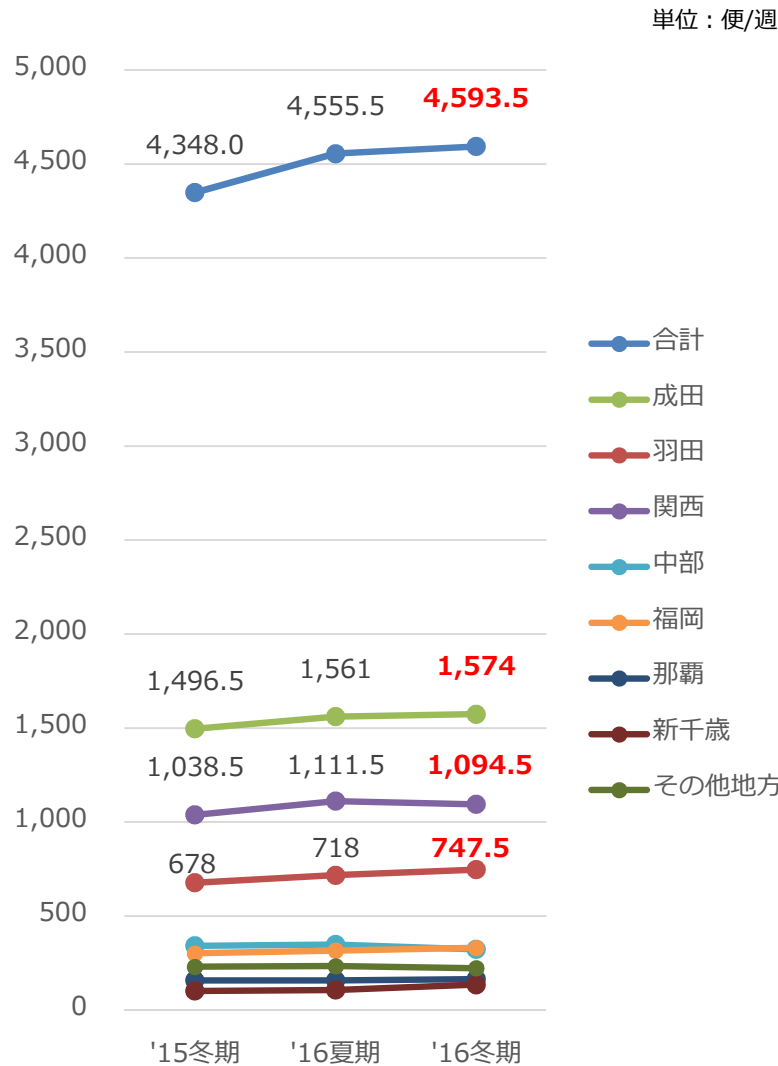
2016冬期 国際線 空港別内訳(旅客便・貨物便)

旅客便は、羽田・新千歳・福岡が増加。また、仙台が台北路線を中心に増加。貨物便は、日本貨物航空が増便。

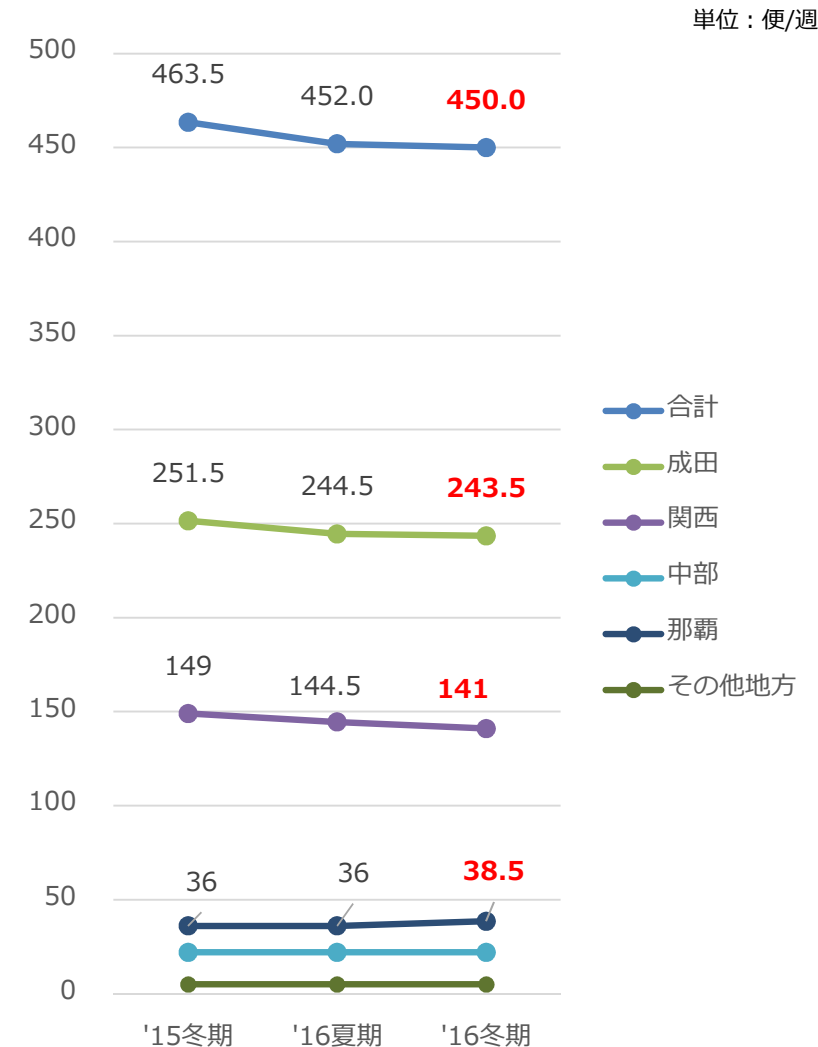
単位：便/週

空港	2016 冬期			2016 夏期	2015 冬期
	16夏期比	15冬期比			
旅客					
成田	1,574	13	77.5	1,561	1,496.5
羽田	747.5	29.5	69.5	718	678
関西	1,094.5	-17	56	1,111.5	1,038.5
中部	323.5	-25.5	-18.5	349	342
地方	854	38	61	816	793
福岡	331	14	29	317	302
那覇	165	7	7	158	158
新千歳	135	28	33	107	102
その他	223	-11	-8	234	231
計	4,593.5	38	245.5	4,555.5	4,348
貨物					
成田	243.5	-1	-8	244.5	251.5
羽田					
関西	141	-3.5	-8	144.5	149
中部	22	0	0	22	22
地方	43.5	2.5	2.5	41	41
福岡					
那覇	38.5	2.5	2.5	36	36
新千歳					
その他	5	0	0	5	5
計	450	-2	-13.5	452	463.5
全体					
成田	1,817.5	12	69.5	1,805.5	1,748
羽田	747.5	29.5	69.5	718	678
関西	1,235.5	-20.5	48	1,256	1,187.5
中部	345.5	-25.5	-18.5	371	364
地方	897.5	40.5	63.5	857	834
福岡	331	14	29	317	302
那覇	203.5	9.5	9.5	194	194
新千歳	135	28	33	107	102
その他	228	-11	-8	239	236
計	5,043.5	36	232	5,007.5	4,811.5

旅客便推移



貨物便推移



2016冬期 国際線 空港別内訳(羽田・成田旅客便)

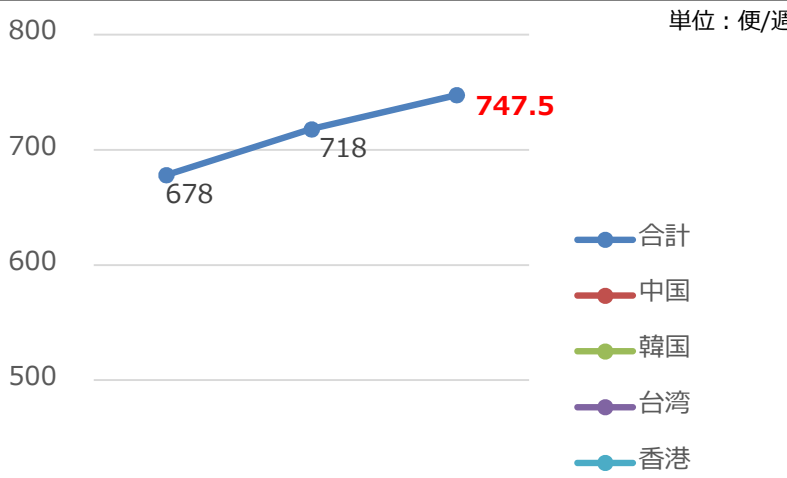
【羽田】 新規に昼間時間帯で米国路線が就航。昼間時間帯に全日空がニューヨーク・シカゴ線を、デルタ航空がミネアポリス線を開設。深夜早朝時間帯には、全日空がクアラルンプール線を、ハワイアン航空がコナ線、ピーチが上海線を開設。

【成田】 韓国方面の増便が目立ち、ジンエアーの'16夏期比14便/週の増便を筆頭に、済州航空・エアプサン・ティーウェイ航空が、それぞれ7便/週増便。また、全日空はホーチミン線を7便/週増便。

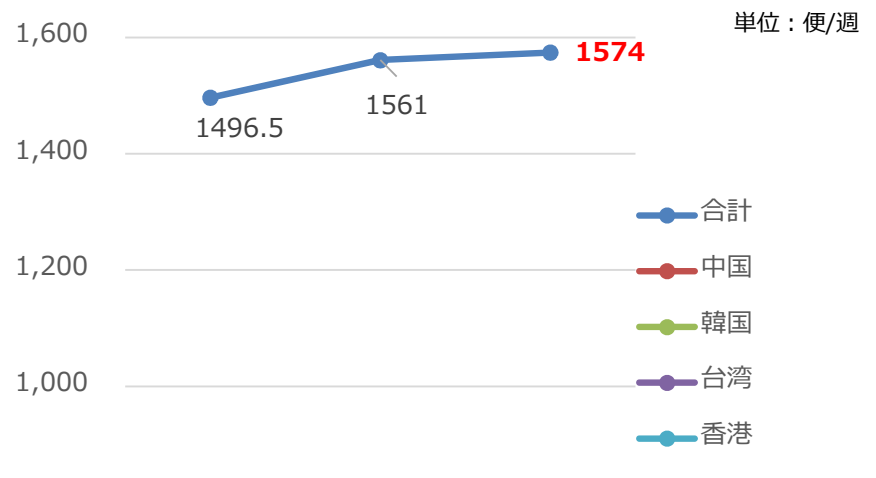
単位：便/週

羽田	'15冬期	'16夏期	'16冬期
合計	678	718	747.5
中国	149	160	163
韓国	98	105	105
台湾	63	70	67
香港	52	51	51
シンガポール	49	49	49
タイ	42	42	42
その他アジア	63	63	70
北米	63	70	94
ヨーロッパ	78	80	78.5
オセアニア	7	14	14
その他	14	14	14

羽田 単位：便/週



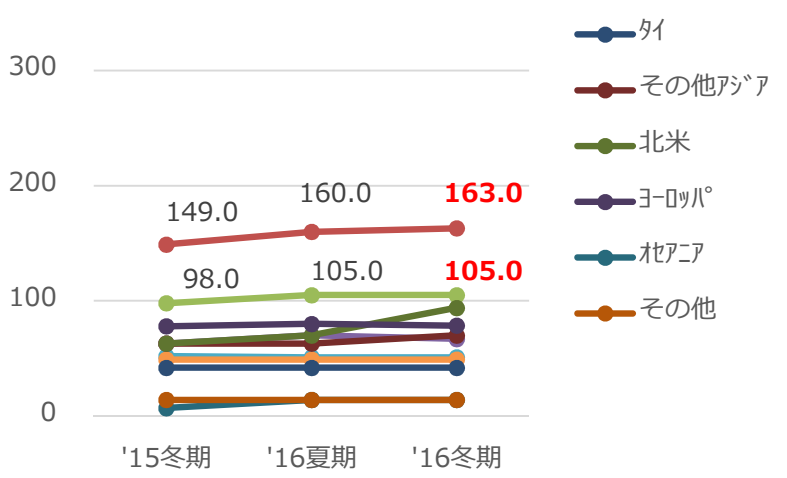
成田 単位：便/週



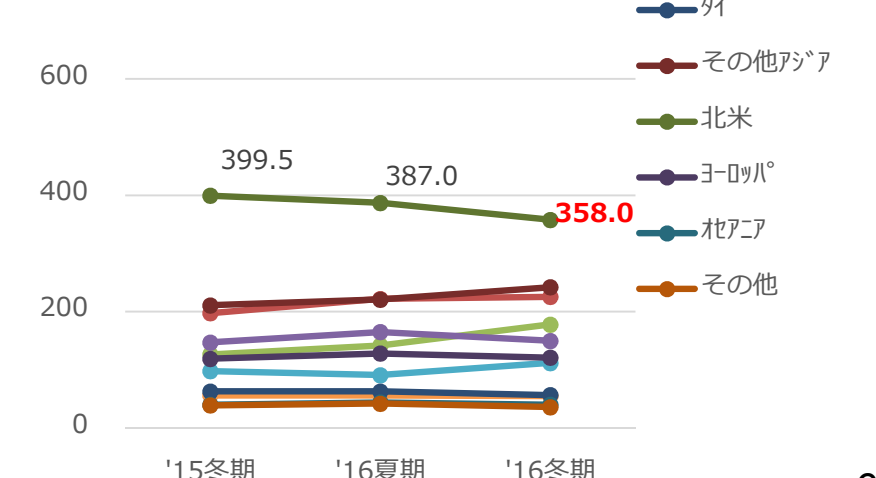
単位：便/週

成田	'15冬期	'16夏期	'16冬期
合計	1496.5	1561	1574
中国	197.5	222	225.5
韓国	126.5	142	178
台湾	147	165	150
香港	98	91	112
シンガポール	56	56	55
タイ	63	63	56.5
その他アジア	211	221	242
北米	399.5	387	358
ヨーロッパ	119	128	121
オセアニア	40	44	40
その他	39	42	36

成田 単位：便/週



成田 単位：便/週



2016冬期 国際線 空港別内訳(関西・中部旅客便)

【関西】 韓国方面では大韓航空が8便/週、アジアナ航空が5便/週それぞれ増便し、中国方面ではピーチアビエーションの上海路線開設、アジア方面でもジェットスター・ジャパン・フィリピン航空・エアアジアX (マレーシア) が増便。

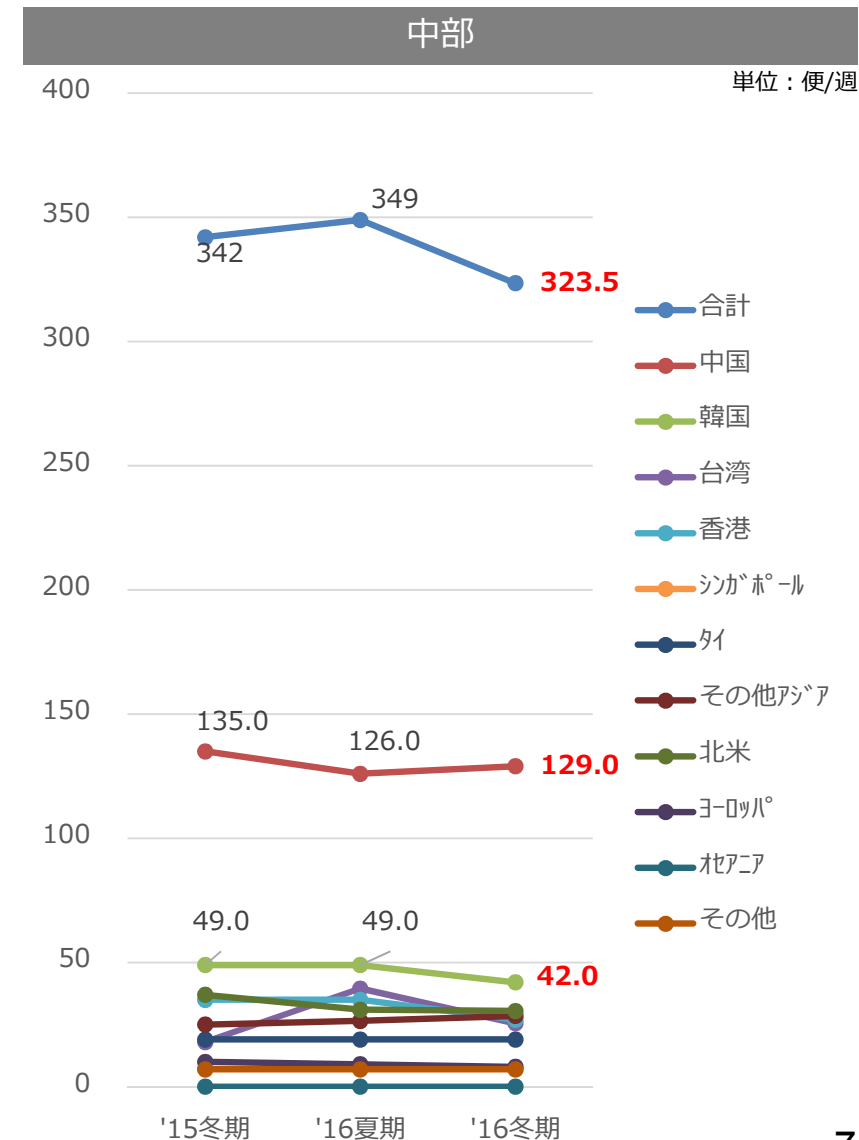
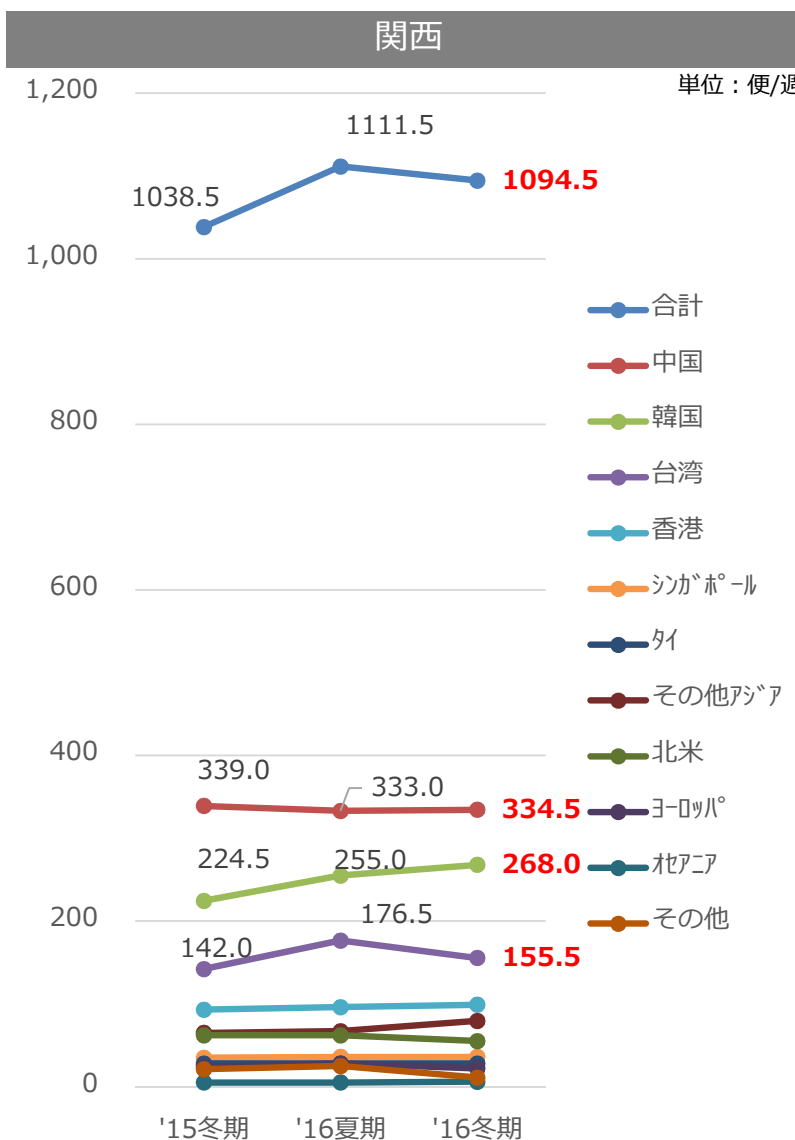
【中部】 中国方面では中国東方航空が青島経由成都路線を開設。

単位：便/週

関西	'15冬期	'16夏期	'16冬期
合計	1038.5	1111.5	1094.5
中国	339	333	334.5
韓国	224.5	255	268
台湾	142	176.5	155.5
香港	93	96	99
シンガポール	35	36	36
タイ	28	28	28
その他アジア	65	67	79.5
北米	62	62	55
ヨーロッパ	24	28	22
オセアニア	5	5	6
その他	21	25	11

単位：便/週

中部	'15冬期	'16夏期	'16冬期
合計	342	349	323.5
中国	135	126	129
韓国	49	49	42
台湾	18	39.5	25.5
香港	35	35	27
シンガポール	7	7	7
タイ	19	19	19
その他アジア	25	26.5	28.5
北米	37	31	30.5
ヨーロッパ	10	9	8
オセアニア			
その他	7	7	7



2016冬期 国際線 空港別内訳(福岡・那覇・新千歳旅客便)

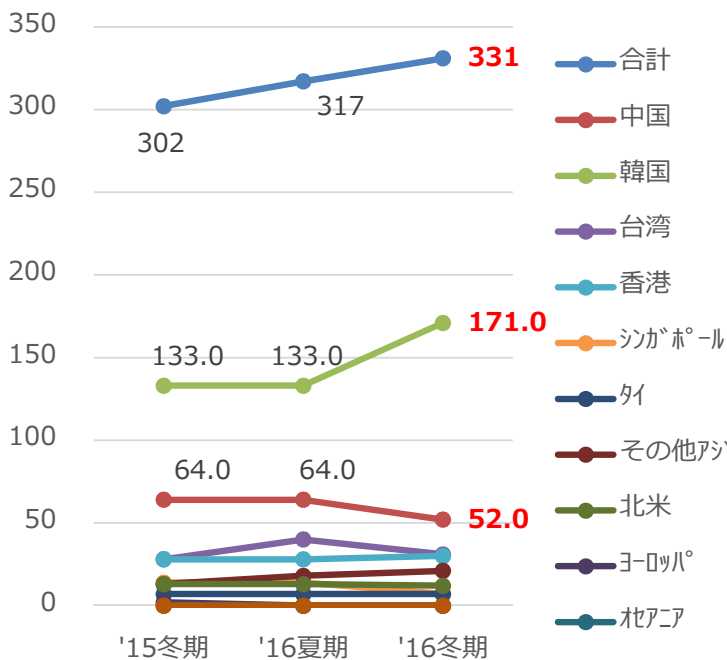
【福岡】 '16夏期比で微増。エアプサン・ティーウェイ航空の大邱路線開設・増便や仁川路線の増便により韓国方面が大幅増。

【那覇】 '16夏期比で微増。バニラエアが台北路線を開設。上海吉祥航空が南京路線、大韓航空が仁川路線開設。

【新千歳】 '16夏期比で約3割増。特に、韓国路線が大幅に増加。中国路線は、第一週は微増だが、新千歳空港は、国際航空便の規制緩和をうけて、期中には最大で+30便/週の見込み。

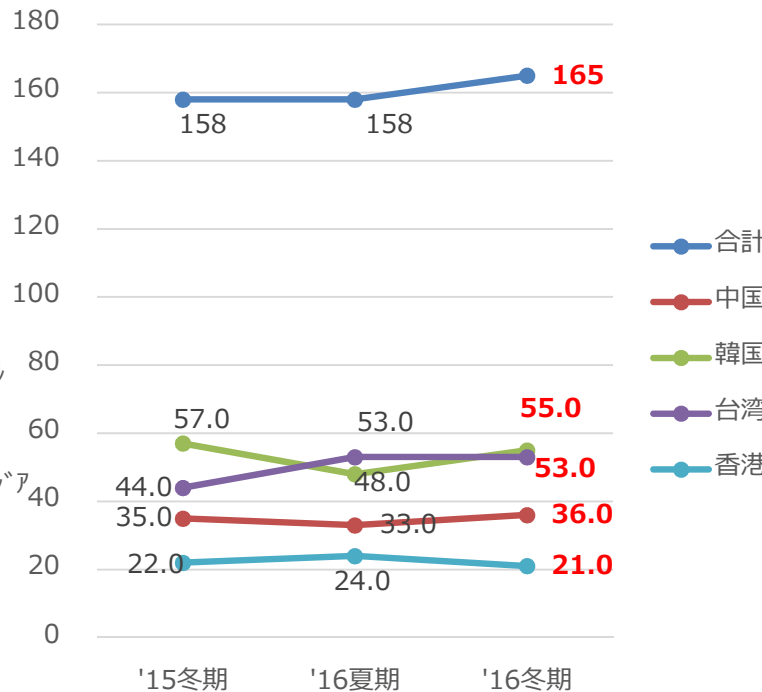
単位：便/週

福岡	'15冬期	'16夏期	'16冬期
合計	302	317	331
中国	64	64	52
韓国	133	133	171
台湾	28	40	31
香港	28	28	30
シンガポール	14	14	7
タイ	7	7	7
その他アジア	13	18	21
北米	13	13	12
ヨーロッパ	2		



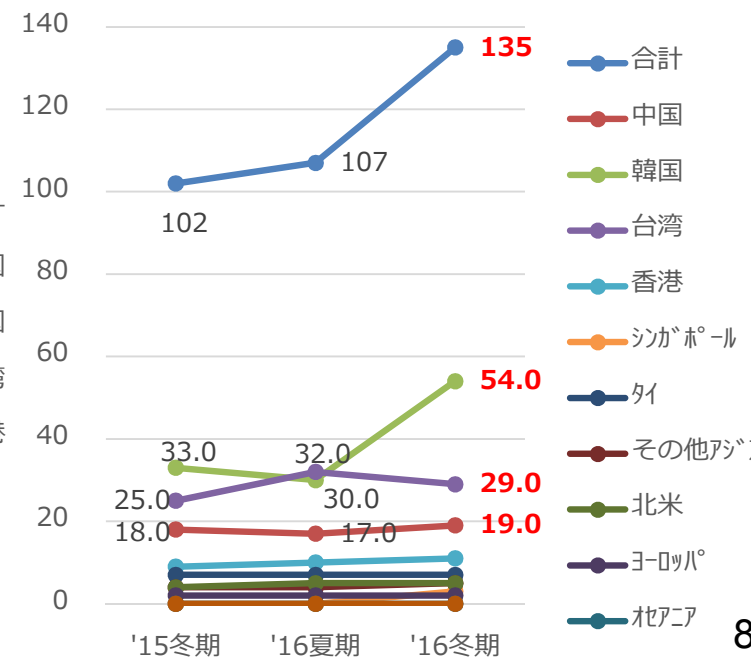
単位：便/週

那覇	'15冬期	'16夏期	'16冬期
合計	158	158	165
中国	35	33	36
韓国	57	48	55
台湾	44	53	53
香港	22	24	21



単位：便/週

新千歳	'15冬期	'16夏期	'16冬期
合計	102	107	135
中国	18	17	19
韓国	33	30	54
台湾	25	32	29
香港	9	10	11
シンガポール			3
タイ	7	7	7
その他アジア	4	4	5
北米	4	5	5
ヨーロッパ	2	2	2



その他地方空港においては、一部例外を除き、中国・韓国・台湾・香港路線のみ就航。

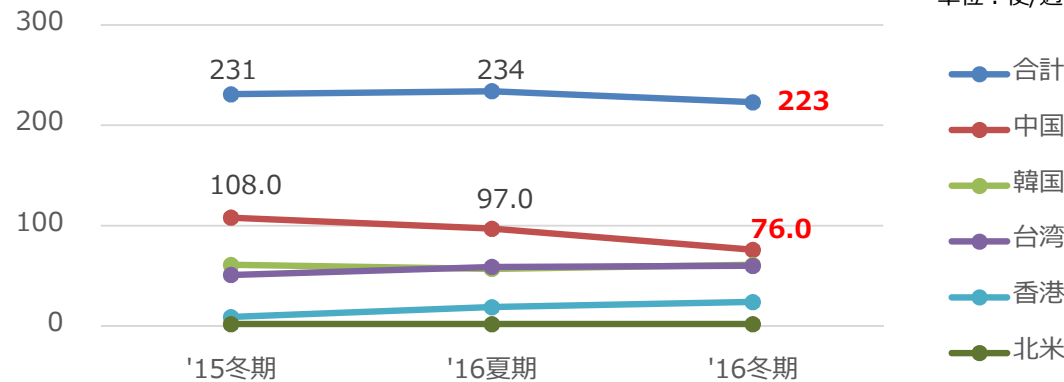
単位：便/週

その他	'15冬期	'16夏期	'16冬期
合計	231	234	223
中国	108	97	76
韓国	61	57	61
台湾	51	59	60
香港	9	19	24
北米	2	2	2

単位：便/週

空港	2015冬期	2016夏期	2016冬期
函館	12	16	11
旭川	10	9	6
釧路	0	0	0
青森	3	3	3
秋田	3	0	0
仙台	15	10	22
福島	0	0	0
茨城	10	19	6
新潟	12	10	8
静岡	40	30	24
富山	9	11	9
小松	14	12	14
高松	11	13	20

単位：便/週



単位：便/週

空港	2015冬期	2016夏期	2016冬期
松山	5	5	2
米子	3	3	5
岡山	16	20	19
広島	30	31	26
北九州	0	0	2
長崎	2	2	6
大分	4	4	4
佐賀	6	6	6
熊本	6	8	3
宮崎	8	8	7
鹿児島	12	12	18
石垣	0	2	2
合計	231	234	223